12月14日 県議選・筑西市区［定数2］

こんどもたのむよ
さとっさん！

党派をこえて力あわせて
県政をさらに前へ

みんなの力でなんとしても
新中核病院の建設を

地域の悲願
一刻を争う命の問題

書道家　篠﨑房枝

救急車の音に心痛めています。「国の顔色と住民の命と、どちらが大事？」と思うような県議会での知事答弁。命を守るためなら県にも国にもはっきりものを言える鈴木さんにしか託せないという思いを強くしています。

大暴落
コメ農家がやっていける価格保障を

もう待ったなし
農家がなくなる

元農業委員　高島健二

今でも採算割れで離農する人が増えているのに、今年の米価暴落。9月の県議会一般質問で、米価問題の発言は、鈴木さんだけ。他の県議会議員は、何を考えているのか。

県議二人が誰になるか
いのちとくらしふるさとの大問題

鈴木さとしが県議会で直談判し、知事は新中核病院のために「なんでもやる」と答弁、県西の声が県政に届くようになりました。この流れを絶対に止めてはなりません。

県内有数のコメ産地である筑西市で、コメの大暴落は、地域経済全体にとって死活問題。コメ価格の上乗せは、もはや待ったなしです。

県政与党の自民党・民主党が議席を独占していた時代、県西に政治の光はあたらず、ずっと取り残されてきました。そんな時代の再現を絶対に許してはいけません。

さあ、党派をこえて力をあわせて、県西の役に立つ県議、鈴木さとしを再び県政へ送り出しましょう。動き出した政治の流れを、さらに前へすすめましょう。

県西の役に立つ県議
鈴木さとし

- 1944年(昭和19年)旧下館市樋口生まれ
- 下館一高卒●下館市議10期、樋口雷神社氏子総代
- 家族は妻一男、趣味は野球と日本画

日本共産党

茨城民報　2014年10月号外
日本共産党の見解を紹介します。発行●日本共産党茨城県委員会　連絡先●筑西市玉戸31-1　電話 25-6511